

なかやま

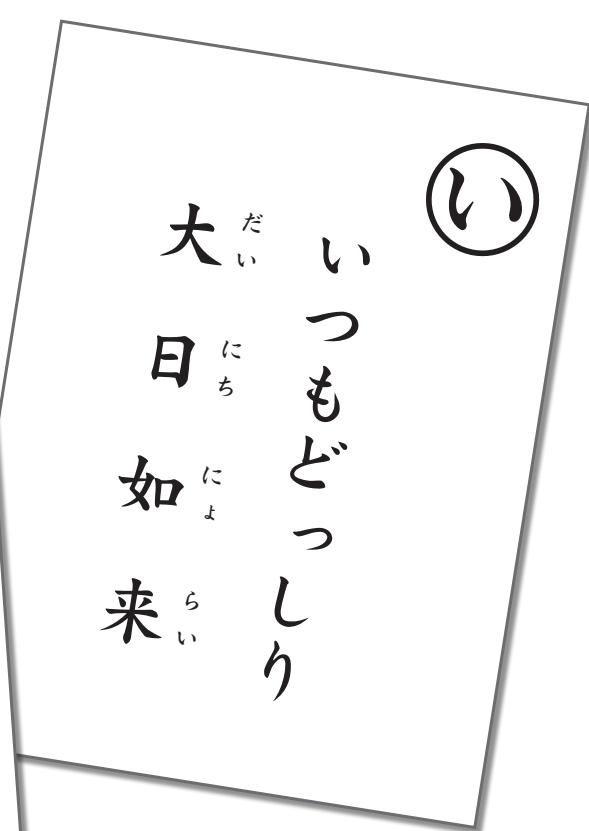
No.18

July 2021

発行日：令和3年7月15日

発行：中山町議会

議会だより



シリーズ
ふるさと
再発見
!

中山町の名所を子どもたちが描いた「なかやまカルタ」の「大日如来」の札 (中山町青少年育成町民会議・中山町教育委員会)

町の安全と平和を祈って 光秀院「大日如来」

町役場から200m南方、「光秀院」の一角にある「大日如来」には、この地とのつながりを感じさせる興味深い伝説が残っており、地区の人々に親しまれています。(⇒詳しくはP14へ)

また、「なかやまカルタ」の札になっているため、子どもたちにも広く知られています。



目次	6月定例会	令和3年度一般会計補正予算	2
		私は賛成、私は反対	3
		請願と陳情	4
		町政を問う 一般質問	5～9
		議会活動報告	10～12
		モニターの声	13
		速報 信号機設置決定!	14
		なかやま大好き! まち・ひとインタビュー	15
		なかやま スポーツ14番勝負!	16

その議案に私は賛成、私は反対

6月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊕欠席 ⊖退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		佐東 幸治	須貝 勝司	冨田 慎二	鈴木 徹雄	渡辺 博文	斎藤 真一	村山 隆	欠員	佐竹 英規	鎌上 徹
議第43号	中山町税条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により承認を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
44号	令和2年7月豪雨の被災者に対する国民健康保険税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 令和2年7月豪雨で被災された方を、令和2年度国民健康保険税の減免により救済するにあたり、対象となる納期限の範囲を令和3年3月31日から令和3年4月30日に急きょ延長する必要があるため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により承認を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
45号	令和3年度中山町一般会計補正予算(第1号)についての専決処分の承認について 令和3年度中山町一般会計補正予算(第1号)については、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により承認を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
46号	令和3年度中山町一般会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ2522万8000円増額し、歳入歳出予算総額を50億1772万8000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
47号	中山町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について 防災会議委員の人数を改める必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
48号	中山町議会議員及び中山町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の設定について 公職選挙法の一部改正に伴い、関係する条例を整備する必要があるため(⇒関連記事P4)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
49号	中山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律(令和3年法律第5号)が令和3年2月3日に公布され、同年2月13日から施行されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症の定義が変更されたことから、本条例に必要な改正をするため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
50号	中山町災害見舞金の支給に関する条例の設定について 災害救助法による救助、被災者生活再建支援法による支援または災害弔慰金の支給等の対象とならない被災世帯を支援することを目的として、関係する条例の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
51号	中山町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について 標準議会会議規則の一部改正に伴い、関係する規則の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
請願受理番号第1号	「きめ細やかな教育の実現のために少人数学級の実現を求める意見書提出を求める請願」を採択することについて 30人学級の早期実現、その後すみやかに20人程度の少人数学級編成を実現するよう求める(⇒関連記事P4)	●	●	●	●	●	●	○	-	●	*

※注：議長は採決に加わりません。議席番号8番は欠員となります。

令和3年 中山町議会 6月定例会日程表

期 日	会 議	備 考
6月3日(木)	本 会 議 (特別委員会)	請願、一般質問 議第43号～45号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決報告 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
6月4日(金)～6月7日(月)	休 会	議案調査
6月8日(火)	本 会 議 (全員協議会) (特別委員会)	議第46号～51号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決 治山・治水特別委員会

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

6月定例会で第2回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ2522万8000円を増額し、総額で50億1772万8000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

① 子育て世帯を支援

子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、18歳までの児童を養育する住民税非課税世帯の生活を支援するため、対象児童一人当たり5万円を支給するものです。(対象児童数166人、総額830万円)

トピックス

② GIGAスクールサポーター配置

学校支援事業



わかりやすいタブレット授業に(長崎小学校1年生)

授業時の端末操作やトラブル対応のための授業支援を目的に、各学校に「GIGAスクールサポーター」を配置します。当初予算では「ICT支援員委託料」として50万2000円を計上していましたが、それを減額し、新たに「GIGAスクールサポーター委託料」として120万4000円を増額補正するものです。(うち、60万1000円は国庫補助金)

トピックス

③ ほんわ館を、安心・安全に

図書館施設管理事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、安心して町立図書館を利用できるよう、監視員を配置します。感染拡大防止対策として、入館者の体調チェックや注意喚起を行うもので、監視員設置業務委託料として146万2000円を増額補正するものです。



安心して「ほんわ館」を利用できるように

トピックス

④ 小・中学校で 感染拡大防止対策を徹底

学校保健特別対策事業



感染防止対策が施された豊田小学校職員室

小・中学校における感染拡大防止対策として、職員室用、普通教室の教職員用、および児童・生徒のグループ活動用の飛沫防止パーテーションを整備するため、総額94万1000円を増額補正するものです。

一般質問

一般質問とは、議員個人が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。
質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

4人の議員が一般質問

6月定例会では、4人の議員が8件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

佐東 幸治 議員 (6ページ)

- 豊田地区にヘリポートを
- 町施設のネット予約を可能に
- まちづくりは自分たちの手で

多田 慎二 議員 (7ページ)

- 災害への備えは万全か？
- 柏倉家の活用方法は？

須貝 勝司 議員 (8ページ)

- 行政改革大綱の早急な策定を
- 防災行政無線について

佐竹 英規 議員 (9ページ)

- 10年先を見据えて施策を実行せよ
～第6次中山町総合発展計画を策定～

ここが聞きたい！
町政を問う

特別解説 議第48号

議員のなり手不足解消につながるか



6月8日、本会議において、議第48号「中山町議会議員及び中山町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の設定について」を、全会一致で可決しました。これは、令和2年6月に国会で成立し公布された、公職選挙法の一部を改正する法律に併せ、当町の条例を改正したものです。

今回の法改正は、町村の選挙における立候補に係る環境の改善のため、選挙の公費負担対象を市と同様のものに拡大したもので、町村議会議員選挙においても、ビラ頒布の解禁や供託金制度*の導入が行われました(下図参照)。

これにより、選挙に立候補しやすい環境を整え、議員のなり手不足の解消を目的としています。

*供託金制度とは…選挙において、供託金として立候補者に一定額の金額を一時的に法務局に預けることを義務付け、当選を争う意志のない人が、無責任に立候補することを防ぐための制度です。供託金は、一定の得票数を満たすことができれば返却され、規定の得票数に達しなかった場合や、立候補をとりやめた場合などは没収されます。

主な変更点

	選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター	選挙運動用ビラ	供託金
改正前	公費負担なし	公費負担なし	頒布不可	—
改正後	レンタカーと運転手などの費用の公費負担あり	掲示場数分の公費負担あり	印刷費用の公費負担あり 頒布可能(部数制限あり)	15万円

請願と陳情 6月定例会では、継続審査された請願1件を不採択。陳情2件が提出されました。

請願 きめ細やかな教育の実現のために少人数学級の実現を求める意見書提出を求める請願

5月24日に総務文教常任委員会が開かれ、継続審査となっていた上記請願について審査が行われました。その結果、不採択とすることに決定。6月3日の本会議において、委員長の審査結果報告の後、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。



陳情 辺野古基地建設のために沖縄戦犠牲者遺骨の残る沖縄本島南部からの土砂採取を中止するよう国および国会への意見書の採択を求める陳情

受理年月日：令和3年5月18日 陳情者：漆山ひとみ

陳情 新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める陳情書

受理年月日：令和3年5月25日 陳情者：山形地方農民連 会長 吉田吉弘



佐東 幸治 議員

豊田地区にヘリポートを

問 現在、なかやま保育園の東側駐車場を「山形県ドクターヘリ臨時離着陸場」として利用しているが、その場所、もしくは近くの場所に、Hマークの付いたヘリコプター専用の離着陸場であるヘリポートを設置できないか。

豊田地区の防災施設の拠点としても必要ではないか。

町長 当町は、**ランデブーポイント**を9か所設定しており、そのうち、なかやま保育園駐車場と防災センターへ



※ランデブーポイントとは、救急車とドクターヘリが合流する場所のこと。

リポートは、地域の主な離着陸場として位置づけている。ヘリコプター専用の



ドクターヘリ離着陸時に車の移動が必要です(なかやま保育園駐車場)

ヘリポートとして、Hマークを常時付ける、ほかの用途に使えなくなってしまう。

そうした場合、保園東側駐車場については、今後も園児送迎のための駐車場として用途を維持しつつ、ランデブーポイントとして現行の運用を行っている。

問 将来的に、町施設の予約をネット予約にすることで、利用者の利便性が高まるのではないか。

町長 受付業務が窓口申請とインターネットの2つに分散することに加え、予約情報を従来の紙台帳と行政インフラネット、さらに施設予約サービスのシステムへも入力することになり、作業が非効率

である。また、予約情報入力の際の時間差によるトラブル発生の懸念もあり、実現には至っていない。感染症拡大防止の観点からも有効な方法だと考えているため、引き続き早期の実現に向けて関係機関と協議していく。

まちづくりは自分たちの手で

問 町がさまざまな計画書を作成する場合、専門的スキルや知識、知恵を持つ、コンサルタント業者に委託する機会が多いと感じているが、自分たちのまちづくりは自分たちでできるだけ業者を利用せず、職員の手で行ってはどうか。

町長 まずは自分たちで考え、企画することが大前提としているが、円滑な業務の進捗

最後に一言 どのような町にしていきたいか、皆さんと話し合いながら、一歩ずつでも前に進めていきたい。

災害への備えは万全か？

問 避難情報に関するガイドラインの改定により、避難勧告と避難指示が一本化された。一斉に避難することによって、より混乱してしまいう心配があるが、どのような準備をしているのか。

町長 平時から自分がどこへ逃げるか、町民一人ひとりに考えていただき、万一のときがきたら、避難指示発令前の段階において避難準備や自主的避難が始められるよう、町民への周知強化を図っている。

問 以前の一般質問の答弁で「学校の体育館のほか、教室部分を活用するなど、避難所が拡大した場合、町民の協力が必要となる」とあったが、具体的な調整はどのようになっているのか。

町長 町職員だけでなく、各地区自主防災会の方や、避難された町民の方と一緒に避難所運営が必要と考えており、今後、自主防災会と避難所開設訓練を実施していく。また、避難された町民への避難所の運営協力を明示し、積極的な参加が促されるよう、努めている。

て、広域避難を検討する必要があるとされる地域に当町が該当すると思うが、検討はしているのか。

総務広報課長 広域避難は、当町にはぜひ必要だと考えているので、今後視野に入れて進めていく。

また、今年度購入した土のう作製を補助する器具は、消防団の水防訓練(6月6日)で実際に使用する予定である。

問 避難所用に購入した備品を使用した訓練等は実施しているのか。

町長 今年度の担当職員を対象とした避難所設営訓練において、実際に使用する予定である。

問 柏倉家住宅へ、もっと多くの人が訪れるような取り組みが必要だと思うが、将来的にはどのような活用を考えているのか。

町長 新型コロナウイルスの収束後に向け、昨年度は着地、体験型旅行商品の企画立案、PR広報計画の立案を行った。今年度は旅行商品の販売・ブラッシュアップ、町観光資源のPRを行っていく。

町長 みんなで作り上げるイベントというのは、まさに町として目指すところであり、そういったイベントを開催したい方々に対しては、町としてバックアップしていく。

問 みんなで作り上げるようなイベントを開



5分程度で設置できる、避難所用テント

最後に一言 より多くの町民が関心を持ち、訪れたくなるような柏倉家にするための取り組み、活用してほしい。



ただしんじ 前田 慎二 議員

問 内閣府が公表した「水害からの広域避難に関する基本的な考え方」におい



須貝 かつし 議員

行政改革大綱の 早急な策定を

問 令和3年3月23日の臨時議会において、「平成18年の行財政改革で見直しされたので、大きな理由がない場合は補助金は上げられない」との答弁があった。

行政改革の取り組みは、中山町行政改革大綱（昭和60年）策定からスタートし、平成29年3月には第6次となる大綱が策定され、これらに基づいて推進されてきたが、第6次大綱の計画期間は令和2年度までであった。今後の見直しと考え方について伺います。

町長 今後の行革大綱については、令和3年度の策定を目指していく。町補助金の交付に關しては、今後より一層多様化していく行政需要に対応するため、継続して見直しを進めていく。

問 行政改革大綱は決められた策定期間があり、期間が過ぎた部分については有効性が無い。今後は、継続的に見直しを行いながら、有効性が途切れることのないように計画策定を行う予定はあるのか。

総合政策課長 今後はこのようなことのないようにするとともに、速やかに見直しを含め、計画策定を進めていきたいと考えている。

防災行政無線について

問 多くの町民より、防災行政無線の音声が届き取れない、とのご意見を伺っている。もっと聞き取りやすいよう改良すべきと思うがどのように考えているか。

町長 どの地区の、どの場所が、どんなときに聞き取りにくいのか、アンテナを取りたいと考えている。また、放送が聞き取りにくい場合や聞き逃した場合

には、放送内容が確認できる電話番号（☎63-3585）へ掛けると、放送内容が確認できることを周知していく。今後は、より一層聞き取りやすい音声放送となるよう対策を重ねていきたい。

問 他の町村の例を見ると、合成音より肉声のほうが聞き取りやすいという話がある。当町ではどちらの音声を使用しているのか。

総務広報課長 現在、通常の音声は合成音で放送している。
問 町民が聞き取りやすい放送になるように、肉声音も検討してもらいたい。また、1回の放送では内容がわからない場合があるため、2回程度、繰り返し放送してはどうか。

総務広報課長 どちらも効果的な方法だと考えるので、今後検討していく。



町内20か所で放送されている屋外拡声子局聞き取りにくいという声も

めていく。

問 計画の浸透に向けた取り組みの一つである、「子どもたちにもわかりやすいパンフレット」は、いつごろ完成するのか。

町長 年内の完成を目指し鋭意作業を進めている。町民の皆さまから関心を寄せていただく「きっかけ」となるものとして、十分に時間をかけ取り組んでいく。

問 町の若手職員や中堅幹部職員の人材育成については、どのような取り組みを考へるか。

町長 毎年度、町独自の研修、村山地域や県の市町村職員研修協議会などが主催する研修について、各職員の業務上または、職務に応じた受講計画を策定し

ながら人材育成を図っている。また、県などとの相互交流事業も、大変意味のあるものとして実施している。

全職員が第6次中山町総合発展計画についての理解を深めるため、職員による職員に対する説明会なども予定している。

今後もすべての職員が町職員としての自覚を持って仕事に取り組み、町民の皆さんと一体となってまちづくりを進めていけるような人材育成を目指していく。

問 町の人口減少に歯止めをかけるために必要なものは何だと考えているか。

町長 「中山町に移り住みたい」「生涯住み続けたい」動機

となる、町の魅力をふやしていくことだと考えている。

そのためにも、特定の取り組みだけに注力するのではなく、公共施設の再配置を含め地域防災体制の確立や、町の歴史・文化・伝統を活かした学習環境の充実、健康づくりのための歩きやすい道路環境整備など、分野間の連携を図りながら、移住・定住促進に向けた魅力あるまちづくりを着実に進展させたい。

最後に一言、計画の実現に向けて一年一年、一つ一つの積み重ねが10年先を創ると思う。

問 高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段として、町営バスの利便性の向上を図るべきだと思うがどうか。

町長 町の公共交通の基本となる町営バスについては、運行体制の見直しを含め、詳細な検討を進めていく。

最後に一言、計画の実現に向けて一年一年、一つ一つの積み重ねが10年先を創ると思う。

10年先を見据えて 施策を実行せよ ～第6次中山町総合発展計画を策定～

問 今年度スタートを切った、第6次中山町総合発展計画の概要版を全戸配布した意図は。

町長 計画を着実に推進していくには、町民の皆さまからの理解と参画が不可欠と考える。その理解と参画を得るための取り組みの一つとして実施した。

今後、未来創造ミーティングなどの機会を捉えながら、計画の説明・周知の取り組みを継続し、できるだけ多くの町民の皆さまにご理解いただけるよう努

佐竹 英規 議員



全戸配布された概要版

議会活動報告

困窮している方々に、今こそ行政の力

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告（委員長：佐東幸治）

6月3日、7回目の特別委員会が開催され、今年度の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の使い道に対し、議会としての意見を取りまとめ、町へ要望するための話し合いを行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを踏まえ、議会からの要望として、学生および保護者への支援、PCR検査費の無料化やワクチン接種状況をわかりやすくすること、地域経済活性化と個人消費喚起を目的とした新たな措置を行うことなど、積極的な経済支援を盛り込み7つの項目にまとめ、6月8日、町長に対して4回目の要望書を提出しました。



町民の意見を取りまとめ町へ要望

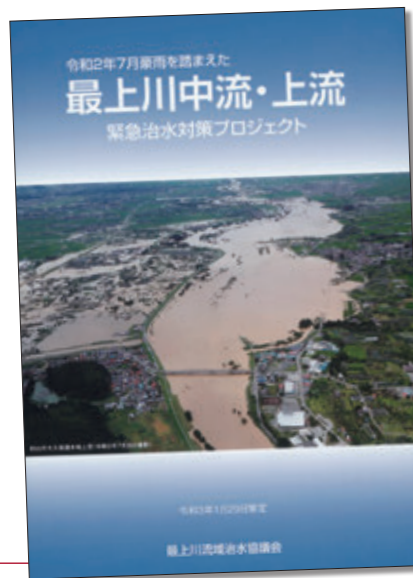
最上川の新しいプロジェクト始動

治山・治水特別委員会報告（委員長：佐東幸治）

「令和2年7月豪雨を踏まえた最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」が国土交通省、最上川流域治水協議会により策定され、その内容を記載したパンフレットが関連する各自治体に配付されました（下写真）。6月8日、プロジェクト概要の説明のため、第6回治山・治水特別委員会が開催されました。

中山町は、最上川中流に位置し、町北側に最上川、東側に須川が流れており、水害の危険性が高い地域です。昨年7月豪雨では、最上川本流で受け入れられる水量を超えたため、石子沢川排水機場のポンプを止めざるを得ず、それにより、内水氾濫による被害が発生したという経緯があります。

このことを踏まえプロジェクトでは、河川からの氾濫を防止する「堤防整備」、河川の水位を低下させる「河道掘削」、洪水流下のネック箇所における「分水路整備」などの計画が出され、今年度より一部着手しているとの説明がありました。



配付された冊子。治水対策が具体的に動き始めます。

令和4年度 中山町重要事業要望

国土交通省 東北地方整備局と山形河川国道事務所に佐藤町長とともに要望書を提出

町民の安全・安心と利便性を高めるために、下記2点を重要事業として要望しました。議会からは、鎌上議長、佐東副議長が出席しました。

最上川流域における総合的な治水対策の早期実施について

- 1 「令和2年7月豪雨を踏まえた最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」による河川大規模災害関連事業について、豪雨時の町内河川の氾濫防止の観点から、速やかに事業を進めること。
- 2 上記河川大規模災害関連事業に連動し、石子沢川内水処理機能を高めるために、同河川内の支障木伐採、河川浚渫等の維持管理、既設堤防の補強・嵩上げ等を要望いたします。また、石子沢川流域での治水対策整備に関してご指導賜りますようお願いいたします。
- 3 警報発令時における国と町とのトップ間のホットラインを引き続き確保していただくとともに、平時においては、避難体制等に関する助言指導をお願いします。

国道112号「山形中山道路」の整備促進について

- 1 新規事業国道112号「山形中山道路」の整備について、速やかな事業の推進を図り、確実な事業推進に必要な予算を安定的・持続的に確保すること。



東北地方整備局へ要望書を提出(6月15日)

治水対策については、「最上川本流の水位を低下させることが重要であり、最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの早期完成を目指していきたい」との回答をいただきました。

旧柏倉家住宅保存活用計画の策定に向けて

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告（委員長：佐竹英規）

5月12日、第20回柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が役場大会議室で開催されました。開会に先立ち現地視察を行い、裏山から流れ出る水の排水状況や、湿気による床等の傷み具合、古文書の保管場所、家の周りなど、普段見ることのできない所まで確認しました。

委員会では、最初に、令和2年度および令和3年4月の入館者数の報告があり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、見込予定数を下回ったこと。次に、文化財の保存・活用に係る国庫補助事業への地方財政措置が、平成30年度から拡充されたことの報告がありました。

また、町が策定した文化財の保存活用計画に基づき実施する事業に、国から特別交付税措置が講じられることになりましたが、そのためには新たな計画の策定と国の認可が必要となり、計画を策定しなければ、令和2年度分の国庫補助金(249万2000円)を返還する必要があるとの説明がありました。このことについては、認識の共有化や町民への理解促進が必要となるため、今後、協議を重ねていきます。



柏倉家の傷んだ床（令和3年5月12日視察時）

議長に武田啓一郎氏（山辺町）を再選 最上川中部水道企業団議会報告

6月11日、最上川中部水道企業団議会臨時会が開催されました。
議事に先立ち、構成市町選出議員の改選に伴い水道企業団議員が変更となったことから、新たに議長・副議長の選挙が行われました。その結果、いずれも指名推選により、議長には山辺町選出の武田啓一郎議員、副議長には渡辺博文議員がそれぞれ選出されました。
また、斎藤武弘議員（山形市）を最上川中部水道企業団監査委員として選任しました。

最上川中部水道企業団構成議員

議長 武田啓一郎（山辺町） 副議長 渡辺 博文（中山町）
 （中山町） 埴田 慎二 佐東 幸治 斎藤 眞一 （山辺町） 神保 稔 （山形市） 斎藤 武弘
 鈴木 徹雄 須貝 勝司 渡邊 裕二 松井 愛

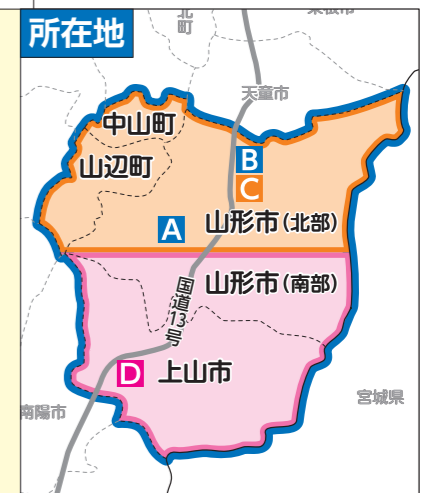
新議長に折原政信氏（山形市）を選出 山形広域環境事務組合議会報告

6月4日、山形広域環境事務組合議会臨時会が開催されました。
議事に先立ち、構成市町選出議員の改選に伴い組合議会議員が変更となったことから、新たに議長・副議長の選挙が行われました。その結果、いずれも指名推選により、議長には山形市選出の折原政信議員、副議長には上山市選出の棚井裕一議員がそれぞれ選出されました。
提出された議案は1件で、本組合監査委員のうち、玉田芳和委員の任期が令和3年6月11日をもって満了となるため、引き続き同委員を監査委員として選任するもので、全員異議なく同意しました。

Q&A 山形広域環境事務組合とは Vol.1

山形広域環境事務組合は、昭和43年に「山形市ほか二町共立衛生処理組合」として設立されました。平成4年、上山市の加入に伴い名称を改称。現在は2市2町のし尿およびごみ処理に関する業務を行っています。今回は、4施設を稼働順に紹介します。

- A 山形広域クリーンセンター【山形市大字沼木】／昭和63年完成**
4市町分のし尿および浄化槽汚泥を処理。1日当たり最大220klの処理能力。
- B 立谷川リサイクルセンター【山形市大字漆山】／平成7年完成**
4市町分のビン・カン（資源物）、雑貨品・小型廃家電類、プラスチック、水銀含有ごみ、粗大ごみ、ペットボトルを処理。1日当たり約32万人分、最大130tの処理能力。
- C エネルギー回収施設（立谷川）【山形市大字漆山】／平成29年完成**
主に山形市北部地域、中山町、山辺町のごみを燃焼し、その熱を利用して発生させた蒸気を利用し、3100kWの発電が可能。1日当たり最大150tの処理能力。
- D エネルギー回収施設（川口）【上山市川口】／平成30年完成**
主に山形市南部地域、上山市のごみを燃焼し、その熱を利用して発生させた蒸気を利用し、3220kWの発電が可能。1日当たり最大150tの処理能力。



鎌上 徹 議長「村山地方町村議会議長会表彰」受賞

5月17日、朝日町を会場に、村山地方町村議会議長会定例総会が開催され、その席上で、鎌上徹議長が在職9年以上の自治功労者として表彰されました。

同氏は、平成23年に初当選され、現在3期目となります。その間、副議長、厚生産業常任委員会委員長などを歴任し、令和3年1月より、第26代議長を務めています。

このたびの受賞おめでとうございます。

広報モニターの



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。

第16号から



- 一般質問は、議員の皆さんの熱意が感じられる内容と構成でとてもよかった。
- 「最後に一言」は質問議員全員に書いてほしいです。
- 毎回決まったレイアウトで読みやすい。
- 配色を工夫してもらいたい。目がちらつき読みにくい。
- ふるさと再発見の所在地が示されていて、わかりやすかった。
- 今後とも、議会と町民とが対話できる企画を期待します。

第17号から



- 大変読みやすく、わかりやすい。
- 予算に対する討論では、各議員の意見がよくわかり、否決に至る経緯と理由が理解できた。
- 予算審議は、ポイントが絞られ見やすく整理されている。
- まち・ひとインタビューの休載が残念。
- 表紙の写真を公募しても面白いと思う。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。

ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。



連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp



みらくるラジオなかやま 毎週金曜 19:00 生配信

「みらくるラジオなかやま」生配信の様子。
伊藤一之さん(左)と、ゲストのNPO黒塀の里山保存会 後藤勇三郎さん(右)

地域おこし協力隊に応募した動機を教えてください。
伊藤さん 高校卒業後は県外で過ごしていましたが、縁があり、栃木県那須町の地域おこし協力隊と一緒に、地域振興のための活動をしていたので、そのとき関わっていた地域団体が「栃木県知事賞 輝くとちぎづくり」で優秀賞を受賞しました。そうした経験を積んでいく中で、地元山形へ恩返ししたいと思いい、応募しました。

中山町を選んだ理由はありますか？
伊藤さん 県内のほかの地域も見ましたが、担当していたいた職業の方々の熱意、また、子どもころに訪れた町民プールや、ゆ・ららが印象に残っていたことが決め手でした。

13年ぶりに帰ってきた山形はどうですか？
伊藤さん 県外にいたときは、なんとなく落ち着かず過していました。山形に帰ってきたとき、ホッとした気持ちになりました。やはり山形弁で話すと、人との距離が縮まる感じがします。また、山形の食べ物のおいしさや山の風景のよさも再認識しました。

県外に出て変わったと思っことはありますか？
伊藤さん 地元を離れたことで客観的に見られるようになりました。また、お互いが本音で話すことでよい関係をつくれるようになったと思います。

横のつながりを強化することで観光体験価値を高めたい

No.11

まち・ひとインタビュー

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内で活躍する元気な「若者」にインタビュー。第11回は、「中山町地域おこし協力隊」で観光振興を担当している、伊藤一之さんです。

プロフィール



いとう かずゆき
伊藤 一之さん(33歳)
旭町在住
中山町地域おこし協力隊

山形市出身。令和2年2月より中山町地域おこし協力隊として活動中。柏倉家住宅関連業務のほか、オンラインのバスツアーや料理教室など、芋煮を使った観光振興や県のやまがた広域観光等も担当。毎週金曜、YouTubeで生配信するなど、幅広く活動を行っている。

「みらくるラジオ」について詳しく教えてください。

伊藤さん 毎週金曜日19時から30分間、町内外のゲストをお迎えしてユルリハナスタジオからYouTubeで生配信しています。スタジオという場所をつくり、発信とコミュニケーションを広げ、横のつながりをつくることを目指しています。

なかやま
大好き!

速報 押しボタン式信号機 設置決定!

主要地方道天童寒河江線文新田生活改善センター前丁字路交差点に押しボタン式信号機の設置が決定しました。

当該交差点東側(山形市方面)は道が大きくカーブしているため、通行車両からは横断する歩行者が見えにくい状況です。また、西村山郡と東村山郡を結ぶ重要な路線(主要地方道天童寒河江線)のため、通勤時間帯は特に交通量が多く、横断が困難な場所となっています。通学時の児童・生徒および地区民の安全確保や事故防止のため、信号機の設置が望まれていました。

以上のような状況から、県に対し、令和3年度の重要事業要望書により信号機設置の要望を行った結果、設置が決定し、今年度中に整備されることになりました。



カーブと坂で見通しの悪い文新田交差点(山形市方面より西進)

次回の定例会は **9月9日(木)~17日(金)** の予定です。

お気軽にお越しください。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

シリーズ
ふるさと再発見

今号の表紙 歴史ロマンを感じる「大日如来坐像」

大日如来坐像が奉納されている光秀院は、新堀川に架かる両国橋を渡った道沿い(上町)にあります。この場所はその昔、湯殿山へ向かう旧六十里越街道に通じる寒河江方面と、平塩から大井沢方面へ向かう道の分かれ道に位置しており、福島県方面から来る行者の祈願所として栄えました。

元文3(1738)年に、金剛界大日如来陽仏(男仏)が、湯殿山に奉納されました。それから30年後の明和5(1768)年、湯殿山行者順政院善竜海の発願により、対となる大日如来像(胎藏界大日如来陰仏(女仏))を同じ場所に奉納すべく、行者たち100人で奥州相馬(福島県相馬市)より湯殿山へ向け運んでいました。しかし、その道中にある光秀院門前で像が急に重くなり、進むことができなくなってしまいました。上町の人たちは「大日様はここにおいでになりたいのだろう」と話し合い、お祭りをしてここに安置したと伝えられています。

それから約250年、うつむいた美しく優しいお顔で、町内の安全と平和を祈ってくださっています。

「大日如来坐像」

出羽三山の一つ、湯殿山尊崇の象徴とされる胎藏界大日如来陰仏(女仏) 青銅鑄造/像高208cm・膝巾177cm/管理者：日教山 光秀院 中山町指定文化財(昭和43年指定)



安置された伝説の残る「大日如来坐像」



地域を見守る優しいお顔

表紙シリーズ「ふるさと再発見!」では、地元の人しか知らない、知っているけれど見たことがない、そんな風景・造形・自然などを紹介しています。地域の隠れた魅力、自慢の風景など、紹介したい場所や物がある方は、町議会事務局(☎023-662-4370)まで、お気軽にご連絡ください。

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

スポーツ 14番勝負!

その1

なかやま議会だよりの最終ページは、町内の各団体を紹介してきました。

連載シリーズ第3弾は、「スポーツ14番勝負!」と題し、中山町スポーツ協会加盟の14団体を紹介します。今回は、「グラウンド・ゴルフ部」と「バスケットボール部（通称：中山クラブ）」の2団体です。

1番 グラウンド・ゴルフ部

グラウンド・ゴルフ部は、平成4年に発足しました。発足当時はまだあまり知られていないスポーツでしたが、誰でも、どこでも、いつでもできることから、全国的に普及し、現在は152名の会員となりました。

健康管理はもちろんのこと、仲間同士の交流と親睦を図りながら、楽しんでプレーすることができます。多くの皆さんの新規加入をお待ちしておりますので、お気軽にお問い合わせください。



主な活動内容：協会会員の大会が年間30回ほどあります。また、一般の方が参加できる大会も多数ありますので、ぜひご参加ください。

代表者：長谷川昭 はせがわあきら 会員数：152名 問合せ先：☎ 023-662-2897



2番 バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、町のキャッチフレーズである「スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま」らしく、生涯スポーツとして楽しく活動しています。

創設時は、団体として大会等に参加していましたが、現在は、バスケットボールが大好きなメンバーが集まり、交流を深めながら、主にトレーニングや練習試合を行っています。また、スポーツ少年団の指導等も行い、バスケットボールの普及および強化にも積極的に取り組んでいます。

バスケットボールに興味がある方は誰でも大歓迎です。ぜひご連絡ください。

主な活動内容：バスケットボールの練習や個人トレーニング

活動曜日：毎週火曜日と金曜日 午後8時から10時

活動場所：中山中学校体育館



代表者：太田孝一 おおた こういち 会員数：男女30名程度 問合せ先：☎ 090-5180-1309

なかやま議会だよりの

No.18

発行日：令和3年7月15日

発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

議会広報常任委員会
委員長 村山 慎
副委員長 佐竹 幸英
委員 佐東 治
委員 上田 徹
委員 鎌田 慎

編集後記
今年、暑い日が例年より早いようです。体調管理には、十分に気を付けたいところです。当町でも、新型コロナウイルススワクチン接種が開始されました。一日も早い収束につながることを願います。編集委員一同、これからも皆さまのご意見をいただきながら、読みやすくわかりやすい、親しまれる「議会だよりの」を目指してまいります。
(佐竹英規)